



賛助会員(サポーター会員)の募集について

一般社団法人青森県フェンシング協会

当協会は、県内4支部と県高体連に加盟する4校を活動の拠点に、フェンシング競技の普及と選手の競技力向上を目的として、競技会、講習会や練習会などの事業を行っています。

平成2年、フェンシング発祥の地今別町で、県内初のジュニアチームが発足しました。平成5年には同町で、全国少年フェンシング大会が開催され、県内の多くのジュニア選手が参加し大会を盛り上げました。また、全国中学校大会でも、個人戦で優勝するなど素晴らしい成績を残していますが、現在はこの世代の選手は多くはありません。また、県高体連フェンシング専門部においても、かつては8校が加盟し、試合への参加者数が100名を超える時代もありましたが、減少の一途を辿っています。残念なことに、2021年度をもって青北高今別校舎(旧：今別高校)の廃校が決定しています。少子化の影響による学校統廃合の県方針とはいえ、県内で初めてフェンシングに取り組み、全国優勝など輝かしい歴史を有する部の活動が終わることは、非常に残念でなりません。競技人口の一層の減少を招くのではないかと心配しています。

このような状況ですが、2025年には全日本フェンシング選手権大会、2026年には国民スポーツ大会(国民体育大会から改称)が、本県むつ市で開催される予定になっています。《2026青森国スポ大会》を、上位入賞という結果で成功裏に終わらせるために、競技人口の拡大と競技力の向上が、当協会の課題となっています。

《具体的な課題・内容》

- ・ジュニア選手(現在の小4年～中1年)と成年選手(現在の中2年生以上)の強化育成
- ・国内外の大きな競技会と選考会等に出場する選手への支援。
- ・公的補助金制度の少ない選手への支援。
- ・県内指導者の支援(大会運営や大会引率の負担軽減)
- ・練習環境の維持・整備への支援。
- ・大学卒業後(既卒者、県外就職者含む)の県内企業への就職斡旋支援。

県は、有望な選手を確保するために雇用環境充実支援事業を開始しました。また過年度から実施されている各種補助事業も、大変有難いことだと思っています。しかし、選手達の用具購入費や遠征費等の経済的負担はますます大きくなっています。また、指導者についても、日頃の練習での指導だけではなく、大会役員及び審判業務、全国・東北大会やさまざまな遠征の引率についても、個人負担で協力をいただいています。しかし、約50人程度の個人会費を主な収入源としている当協会は、財政的に余裕がなく、選手・指導者へ十分な支援ができていません。経済的負担を少しでも軽減し、選手・指導者が安心して練習に取り組むことのできる環境を作るために、財政力の強化が緊急の課題と考えています。

卒業生、保護者、地域の皆様(個人/団体)にお願いします

当協会は一昨年11月に一般社団法人に組織替えをし、定款に賛助会員(サポーター会員)制度を設けました。ぜひ賛助会員(サポーター会員)になっていただき、当協会所属の選手・指導者の活動に対して、経済的ご支援をお願いします。

2026青森国スポに向けて、県協会団結して頑張ります!

○賛助会員(個人)ー□1,000円《何口でも構いません》

○賛助会員(団体)ー□5,000円《何口でも構いません》

※なお寄付金については、金額を定めません。